

学年	高校1年	教科	地理歴史
コース	本科/ICS/MSTC	科目	世界史A
時間数	2時間/週		

重視したいコンピテンシー

① 異文化理解	学習を通じて、多様な社会・文化について認識し、興味・関心を高める。
② 探究心	学習活動を通して、比較やグローバル化などの視点から問いを見出し、歴史観を身につける。
③ 創造性	歴史の学習を通じ、現在起こっている諸問題の解決策や、未来に起こり得る問題を予測し、仮説を立てようとする。

3	①単元の内容を要約できる ②単元の内容を要約したことを説明できる	①2つ以上の事象の共通点・相違点をふまえ、事象の特徴を説明できる ②原因・結果をふまえ、その歴史的意義を説明できる	①C2の①の仮説を検証する ②C2の②の仮説を検証する ③未来に起こりえる問題を解決するための仮説を立てることができる。
2	①重要な歴史用語の説明ができる。 ②歴史事項の流れを理解できる →〈時代整序〉 ③単元内容を理解できる →〈正誤判定〉	〈B①をふまえ・・・〉 ①2つ以上の事象との共通点・相違点を説明できる ②歴史事象の原因を説明できる。 ③歴史事象の結果を説明できる。	①C1の①の問いに対する仮説を立てることができる ②現代の課題を解決するための仮説を立てることができる ③現在の課題をふまえ、未来に起こり得る問いを立てることができる。
1	①問いに対し、歴史用語を的確に答えることができる。	①資料の内容を読み取り、内容や特徴を説明できる。 ②時代の前後の関連性に気づける。 ③同一時代の異なる2つ以上の事象(地域など)の関連性に気づける	①単元を通して、新たな問いを立てることができる。 ②歴史事象をふまえ、現代の諸課題との関連性に気づくことができる。
	A 知識・技能	B 応用・実践	C 批判・創造

学期	月	単元	単元目標	主な活動
1	4	18世紀の世界 国民国家とナショナリズム	●1 学期前半の授業「近代」以前の世界がどのような世界であったかを自分の言葉で説明し「現代」とどのように関わるか考察する。 ●国民国家やナショナリズムがどのように形成されたかを理解し、現代との繋がりを考察する。	反転授業による予習 授業における資料(グラフ・図・史料)読解
	5			
	6			
	7			
2	9	帝国主義の展開とアジア 総力戦と社会運動	●産業革命からはじまる資本主義経済の形成と帝国主義への道程を学習し、現代への影響を考察する。 ●アジアにおけるナショナリズムがどのような問題点を生み出したかを理解する。 ●20世紀の国際秩序の変化と大衆化について理解する。	反転授業による予習 授業における資料(グラフ・図・史料)読解
	10			
	11			
	12			
3	1	グローバル化と私たち	●第二次世界大戦とそれに続く冷戦の流れを概観する。 ●冷戦後の社会が生み出した、さまざまな諸問題について自分事として考える。	反転授業による予習 授業における資料(グラフ・図・史料)読解
	2			
	3			